



岩槻幼稚園・2025年度9月号

＜2025年度9月の聖句＞「主は羊飼ひ。わたしには何も欠けることがない。」詩編23編1節

～ 心にとめて ～

9月になって、新しい学期がはじまりました。年々暑さがきびしくなっているなあと思うのですが、今年の夏はほんとうに暑い！！お日さまが高い時間はお外であそぶどころか、ちょっとそこまでお出かけするのもままなりません。まだまだからだが溶けてしまいそうな日が続きそうですね…。

こまめに水分をとりながら、汗いっぱい笑顔いっぱいで新学期も過ごしてもらえたら嬉しいです。

忙しい毎日のなかで、今年の夏の思い出をふり返ってみると、水でつぼうを持って、いっしょに園庭を走り回ったり、すいか割りをしたあとで、みんなでそのすいかを食べたり、楽しそうに口ずさんでいる、おともだちの鼻歌に耳を傾けてみたりなどなど。たのしい時間を分けてもらったおかげで、良い夏だったなあと思える日々になりました。

ぼくにとってそれは、これから年を重ねれば重ねるほどなつかしい思い出になるわけですが、きっとそのときには、今いるおともだちはそれぞれの場所に旅立っているのだろうと思うと、ちょっぴりさみしいです。

その点、おうちの方々は、10年後、20年後、またその先も、幼稚園での思い出を、おおきくなったおともだちと分かち合っているのでしょう。それはきっと、毎日の送り迎えや、行事のための準備など、お忙しい時間の多くを我が子のために使っていたことと結びついているのだと思います。

園長として、いつも幼稚園のためにご協力くださっているみなさまに、こころから感謝申し上げます。ですが、今の目のまわるようなたいへんな毎日はずっと、子どもたちだけではなく、おうちの方々にとっても、かけがえのない思い出になってくれることを願っています。

たくさん時間をかけたことが喜びに変わるとき。それはおそらく、もう手をかけたくてもかける必要もないほどに、その子がおおきくなってしまった、ちょっぴりさみしいときであるかもしれません。

ですから、岩槻幼稚園も、今の子どもたちと過ごせる時間をたいせつにして、ひとつでも未来のあたたかな思い出をつくれるように、汗をながしていきたいです！（^-）/

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

＜今月のねがい＞

— おもしろそう（3歳児） —

- ・暑い夏を過ごし、それぞれの場で守られたことを感謝し、礼拝、祈り、賛美の時をともにする
- ・夏の経験やこれまでの遊びからイメージが重なり、友だちと共に遊ぶ楽しさを感じる
- ・空や太陽、風など季節の変化に気づき、戸外で体を動かすことを心地よく感じる



— 気持ちいい（4・5歳児） —

- ・礼拝に皆で集い、ともにまもることを喜ぶ
- ・友だちと仲間（群れ）になって過ごすことや、イメージやルールをつくり出し一緒に遊ぶことを嬉しいと思う
- ・自分の好きな遊びの始まりから終わりまでの過程をくりかえし楽しみ、その都度「これでよし」と心身ともに満ちたりる

